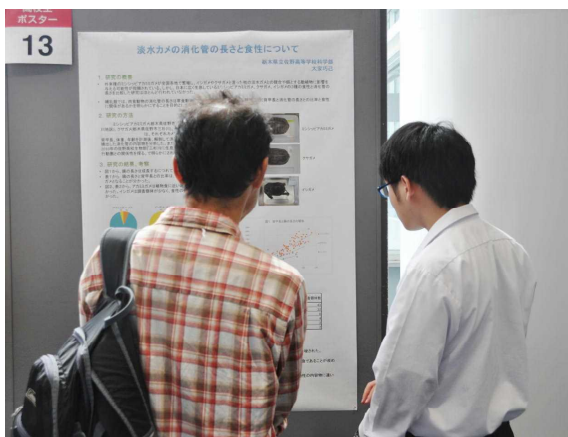


日本動物学会 (新潟大会 2015) 「高校生によるポスター発表」



2015年9月19日(土) 11:00~13:00 国際会議場「朱鷺メッセ」(新潟市)を会場に、日本動物学会による「高校生によるポスター発表」が行われました。日本動物学会は、我が国の動物の科学研究に関する最も歴史と権威のある学会です。その大会期間の最終日には、大学等の研究者が、高校生の発表に対して、専門的な立場から温かいアドバイスや厳しいダメ出し等をしてくれます。

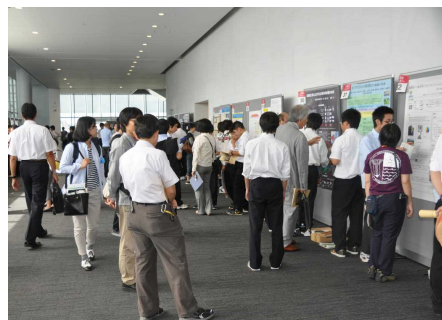
今年度は、全国の高校から**34の発表**があり、本校からは、大家巧己くん(3-3)、西川実来さん(2-1)、片柳章くん(2-3)、関拓洋くん(2-3)、新井隆太くん(1-1)の5名が参加しました。ポスター発表の演題は、大家巧己(個人研究)「淡水カメの消化管の長さと言性との関係」と、科学部「ミシシippアカミミガメの繁殖に関する研究」でした。

参加したメンバーは、それぞれ**大きな衝撃**を受けて帰ってきました。

- ・「多くの改善点が見つかり、これまでの視野の狭さ、考えの甘さに気づき、少しショックもあるが、まだまだ研究を深められることがわかったので、意欲を新たに努力したい。」(西川)
- ・「多くの専門家の意見を聞いて、自分には科学に対するハングリー精神が足りなかったことを痛感した。大学の研究者などから教を請うことで、より高度な研究にしていきたい。」(片柳)

発表終了後には表彰式があり、日本動物学会の会長から「**優秀賞**」をいただきました。

→ **サイエンスはグローバル**です。日本だけに通用するサイエンスなどありません。舞台は世界だ。



日本動物学会の会長から表彰を受ける大家くん、関くん、新井くん

会場の様子